



各 位

会 社 名 テクノホライゾン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(STANDARD・コード6629)
問合せ先 取締役 加藤 靖博
(TEL 052-823-8551)

組織体制変更及び役員人事に関するお知らせ

当社は2021年4月に純粋持ち株会社と主要子会社3社が合併し、カンパニー制を導入、事業拡大に注力してまいりました。今後もさらなる飛躍のため、本日開催の取締役会において、本年4月からの業務執行体制強化を目的に、下記体制へ組織変更することを決議いたしましたのでお知らせいたします。また、取締役の異動（退任）についても併せてお知らせいたします。

今後も経営環境の変化に着実に対応し、成長と発展を目指してまいります。

1. テクノホライゾングループが目指す事業像

(1) 経営理念の概要

- テクノロジー（映像&ITとロボティクス）を核に、さまざまな製品とサービスを提供
 - 事業のミッション：グローバルな「人と社会」に貢献する
 - 対象市場：「教育」、「安全・生活」、「医療」、「FA」など
 - 大切にしている企業姿勢
 - ✓ 技術を活かすこと
 - ✓ 皆さまのお役に立つこと
 - ✓ 豊かな社会を実現すること
- ⇒「輝く地平線（ホライゾン）」をめざして着実に前進する

(2) 経営方針の概要

事業のミッション実現に向けて

- ① テクノロジー「映像&IT」と「ロボティクス」を活かした製品・サービスを開発
- ② 事業展開させるための「マーケティング力」及び「プロダクト開発」を強化
- ③ さらなる「グローバル化」に取り組む

企業運営の基本原則

- ✓ コンプライアンスの徹底
- ✓ 顧客満足に徹すること
- ✓ 公正かつ透明な事業活動を行うこと

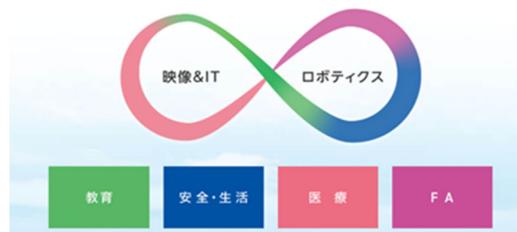
(3) テクノホライゾングループのミッション

グローバルな「人と社会」に貢献する

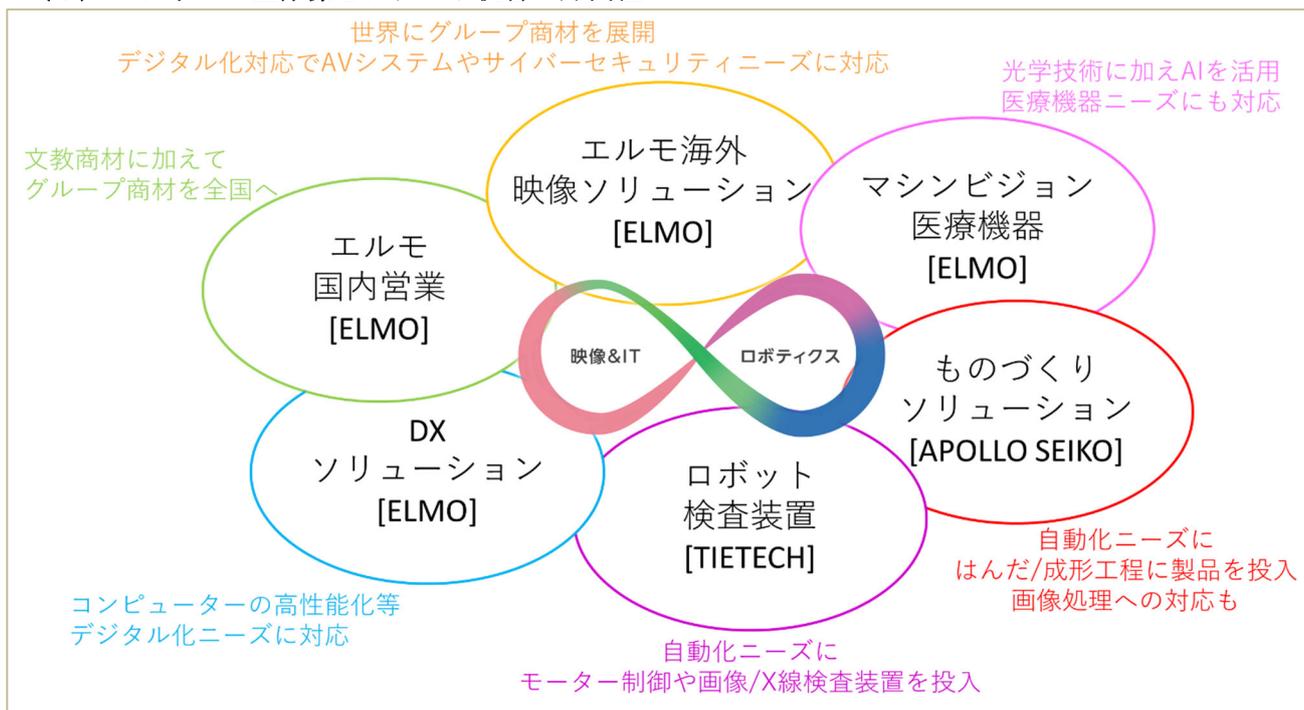
(4) テクノホライゾングループが目指す重点4市場への取組

「映像&IT」と「ロボティクス」を技術基盤に、モノづくりのエキスパートとして価値ある製品を生み出し、重点4市場にグループシナジー効果を活かした製品やシステムを創出し、新たな世界を切り拓く。

- IT化が一層進む「教育」市場
- セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進化する「安全・生活」市場
- 高度化が求められる「医療」市場
- 中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA」市場



(5) ビジネスの全体像とブランド統合の方向性



2. 重点4市場に向けた新組織体制

(1) 社内カンパニーを廃止し、事業内容毎の本部制の導入

従来は利益の最大化や迅速な意思決定を目的にカンパニー制を導入し、事業拡大に注力してまいりましたが、今後も更に当社グループが持続的に発展していくため、カンパニー制を廃止し、事業内容毎に組織を担う7つの本部制（下記の表参照）を導入します。尚、各本部の責任者は執行役員が担い、事業戦略、業務執行、業績管理を行います。

【本部体制概略図】

テクノホライゾン グループ			
テクノホライゾン			
<p>天野 光善 常務執行役員</p> <p>エルモジャパン 事業本部</p>	<p>柏田 淳一 常務執行役員</p> <p>エルモ グローバル 推進 事業本部</p> <p>エルモ ソリューション 事業本部</p>	<p>熊澤 崇 常務執行役員</p> <p>エルモ メディカル 事業本部</p> <p>エルモ マシン ビジョン 事業本部</p>	<p>廣瀬 隆志 常務執行役員</p> <p>タイテック ロボット 事業本部</p> <p>タイテック 検査装置 事業本部</p>
<p>・アドワ―(株)</p>	<p>・Elmo USA Corp. ・ELMO Europe SAS ・ESCO Pte. Ltd. ・PACIFIC TECHグループ</p>	<p>・(株)アド・サイエンス ・(株)ブルービジョン ・東莞旭進光電有限公司</p>	<p>・泰志達智能科技 (蘇州)有限公司 ・アポロ精工(株)</p>

【7つの本部が担う事業内容】

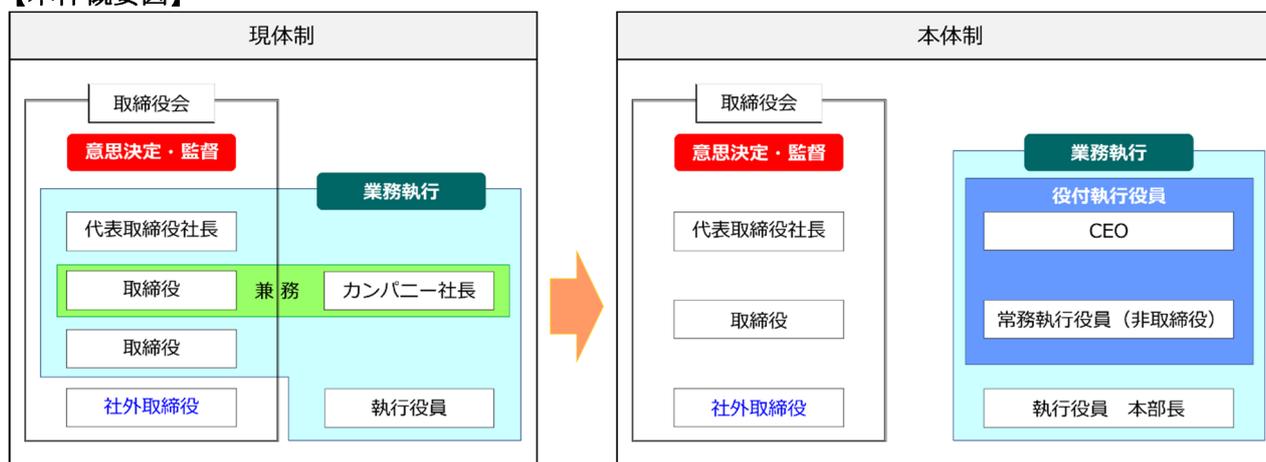
事業本部	担当執行役員	主な事業内容
エルモジャパン	岩脇 崇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文教に向け：電子黒板や書画カメラ等のハードウェアや生徒向け画像ソフト等のソフトウェアを販売 ・ 企業向け：デジタルホワイトボード、各種管理ソフト、監視カメラ等を販売
エルモグローバル推進	松本 和善	<ul style="list-style-type: none"> ・ ASEAN 中心にアジアでの事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 海外事業（主にエルモ）拡大 ➢ 海外子会社（ESCO 及び Pacific Tech）の事業拡大
エルモソリューション	中根 賢剛 武士俣 潤 佐藤 健一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光学系に関する技術・開発・製造 ・ カメラソリューション（独自 AI カメラ開発、クラウドサービス提供）の拡充と事業拡大
エルモメディカル	高杉 宗孝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器メーカー向け各種開発 ・ 医療機器メーカー向けOEM量産
エルモマシンビジョン	小町谷 元幸	<ul style="list-style-type: none"> ・ マシンビジョン（各種工業用カメラ） ・ レンズ成形や、ユニットの海外製造
タイテックロボット	小松 聖二 高柳 昭宏 石木 一男	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場の自動化支援（ロボットコントローラー、はんだ付け自動化装置、ほか）
タイテック検査装置	渋谷 修 安井 廣美	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場向け検査装置

（2）役付執行役員制度の導入

新たに本部間やグループ企業を横断して機動的な経営をすることを目的に執行役員の上位業務執行者として役付執行役員（常務執行役員）制度を導入します。また、代表取締役社長が CEO（Chief Executive Officer）を兼務し、最高責任者として全体の統括を担い、迅速かつ横断的な業務執行を行います。

3. 制度の導入及び役員人事の年月日：2023年4月1日

【本件概要図】



4. 役員人事（取締役会の体制）

本制度の移行に合わせ、現在の取締役10名（うち、社外取締役4名）のうち、取締役5名（うち、社外取締役2名）が退任します。本件により、更なる意思決定の迅速化及び監督機能の強化を図ってまいります。

退任する役員は以下のとおりです（敬称略）。

取締役	浅野 真司
取締役	前田 憲二
取締役	廣瀬 隆志
社外取締役	越原 洋二郎
社外取締役	正宗 エリザベス

なお、取締役を退任する浅野真司氏、前田憲二氏、正宗エリザベス氏（社外取締役）の3氏は、当社顧問として引き続き経営に関与し、海外事業の強化、ものづくり開発体制の強化、働き方・ダイバーシティの改革を推進していただきます。

【制度導入後の体制】

代表取締役社長 兼 CEO	野村 拓伸	執行役員	岩脇 崇
取締役	口野 達也	執行役員	松本 和善
取締役	加藤 靖博	執行役員	中根 賢剛
社外取締役	寺澤 和哉	執行役員	武士俣 潤
社外取締役	Anis Uzzaman	執行役員	佐藤 健一
常務執行役員	天野 光善	執行役員	高杉 宗孝
常務執行役員	柏田 淳一	執行役員	小町谷 元幸
常務執行役員	熊澤 崇	執行役員	小松 聖二
常務執行役員	廣瀬 隆志	執行役員	高柳 昭宏
		執行役員	石木 一男
		執行役員	渋谷 修
		執行役員	安井 廣美

（敬称略）

以上